
福山市

地域福祉計画2022策定に係る

地域課題報告書

2021年(令和3年)8月

福山市

目次

調査の概要.....	1
1 調査の目的	1
2 調査概要	1
調査結果.....	2
住民一人一人の取組について.....	2
地域の取組について.....	5
ボランティア・NPOの取組について.....	8
社会福祉事業者の取組について.....	13
社会福祉協議会の取組について.....	18
活動上の課題や今後について.....	21
地域における様々な課題について.....	23
御意見・御提案	27

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、地域福祉分野で活動しているみなさまを対象に、活動の状況やお考えをお聞かせいただき、前計画の評価ならびに計画策定に活用するため実施したものです。

2 調査概要

調査地域	: 福山市
調査対象者	: 福山市で地域福祉に関する活動を行う団体、事業所、相談員等 ①社会福祉協議会 ②事業所 ③ボランティア・NPO ④相談員、民生委員児童委員協議会（民児協）、その他
調査期間	: 2021年（令和3年）6月8日～6月30日
調査方法	: メール、FAX等による配布回収
回収結果	: ①5 事務所 ②38 事業所 ③11 団体 ④34 団体 全 88 団体 (送付数 137 件)
全体回収率	: 64.2%

※自由記述については、一部表現等を変更・省略している箇所があります。

調査結果

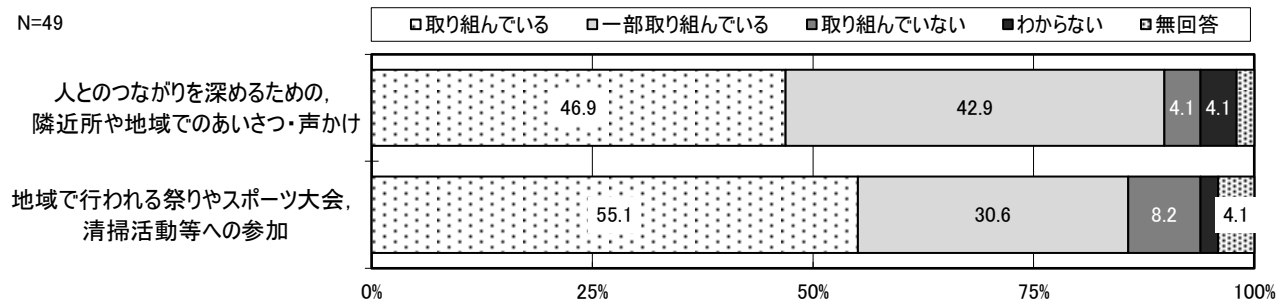
住民一人一人の取組について

【基本方策1 “つながりあい”の促進】

1 関わりあうきっかけづくり
人とのつながりを深めるための、隣近所や地域でのあいさつ・声かけ
地域で行われる祭りやスポーツ大会、清掃活動等への参加
2 集える場づくり
公民館やコミュニティセンター、サロンで行われている活動等への参加
生きがいづくりや仲間づくりのための活動への参加
3 理解しあう学びの機会づくり
公民館、コミュニティセンター・館等で行われている学習活動への参加
地域の障がい者、外国人市民などの暮らしの状況や課題に関心をもつ

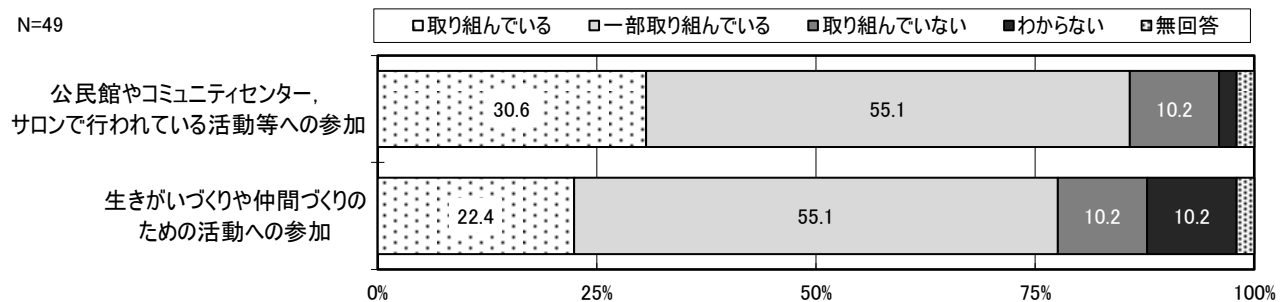
1 関わりあうきっかけづくり

N=49



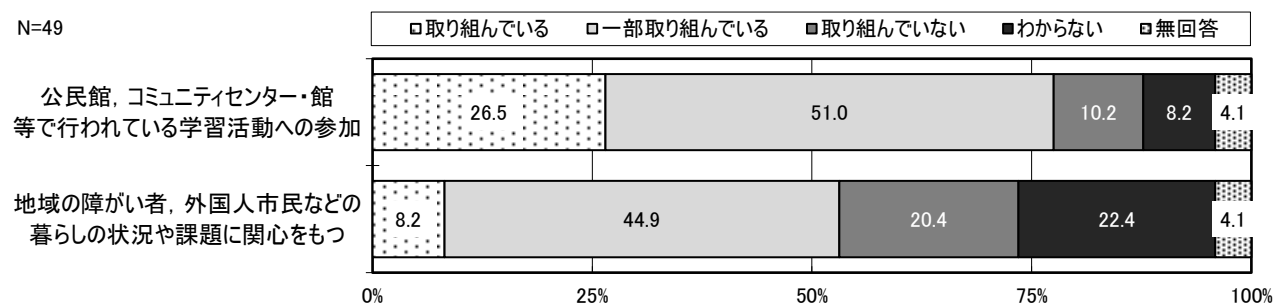
2 集える場づくり

N=49



3 理解しあう学びの機会づくり

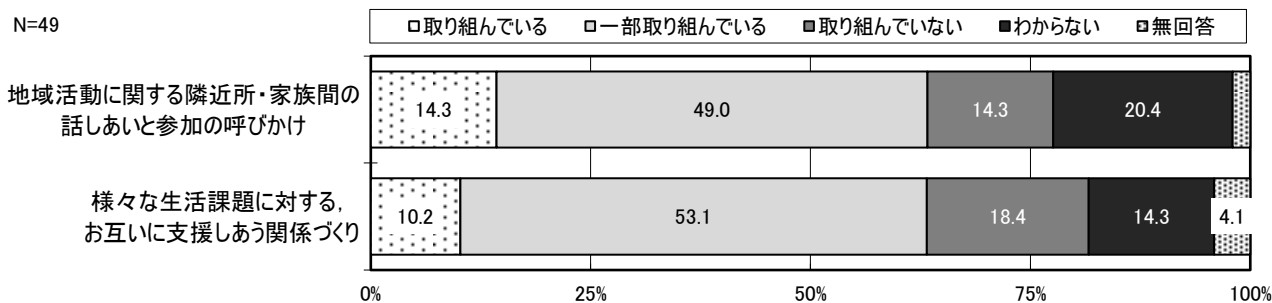
N=49



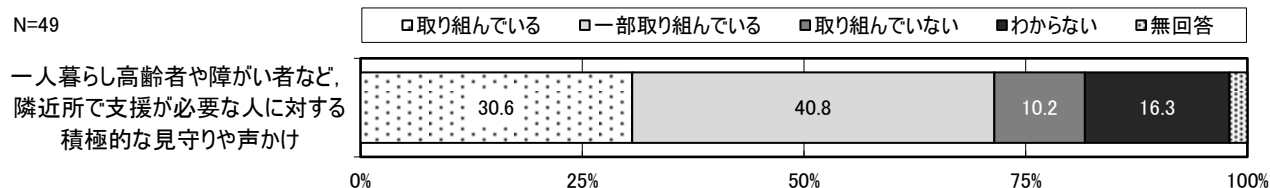
【基本方策2 “支えあい”の促進】

1 「お互いさま」意識づくりと風土の醸成
地域活動に関する隣近所・家族間の話しあいと参加の呼びかけ
様々な生活課題に対する、お互いに支援しあう関係づくり
2 様々な支えあいの実践
一人暮らし高齢者や障がい者など、隣近所で支援が必要な人に対する積極的な見守りや声かけ
3 身近な相談支援体制の充実
地域の人との、身近に相談できる関係づくり
悩んでいる人や困っている人への声かけ・相談対応

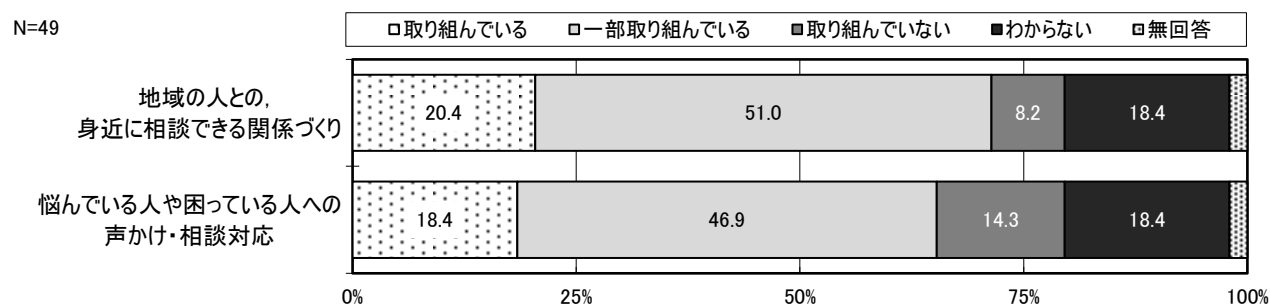
1 「お互いさま」意識づくりと風土の醸成



2 様々な支えあいの実践



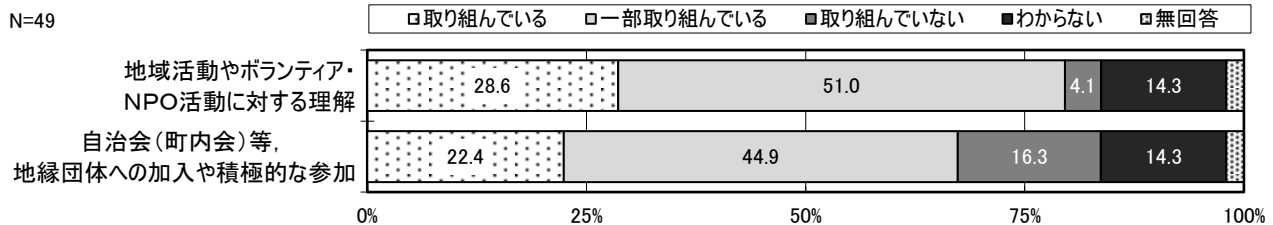
3 身近な相談支援体制の充実



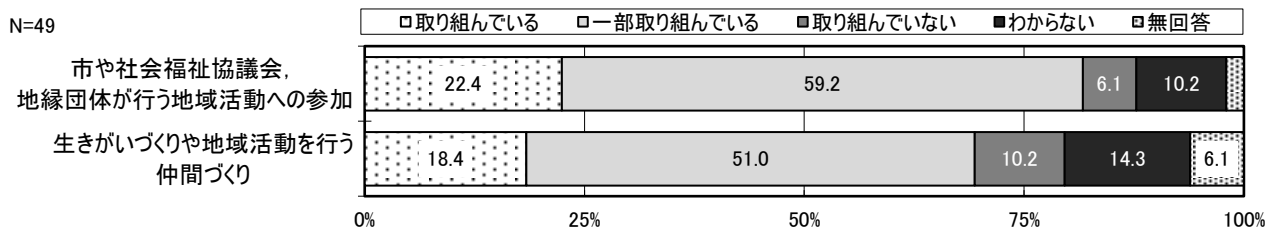
【基本方策3 地域福祉を支える仕組みづくり】

1 人づくり
地域活動やボランティア・NPO活動に対する理解
自治会（町内会）等，地縁団体への加入や積極的な参加
2 ネットワークづくり
市や社会福祉協議会，地縁団体が行う地域活動への参加
生きがいづくりや地域活動を行う仲間づくり
3 地域福祉に関わる情報発信
福祉サービスや地域活動についての情報収集
地域で行われる行事やイベント等についての，隣近所に住む人との情報共有
4 環境づくりと公的なサービスの充実
福祉サービス情報の入手や，必要に応じたサービスの利用
日常の安否確認や声かけによる，手助けが必要な人の把握

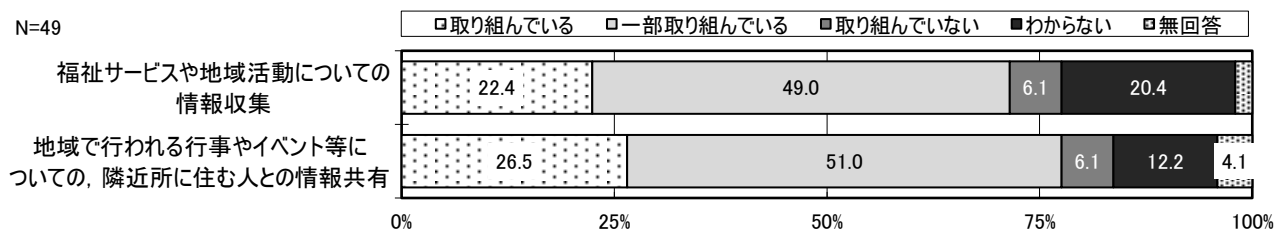
1 人づくり



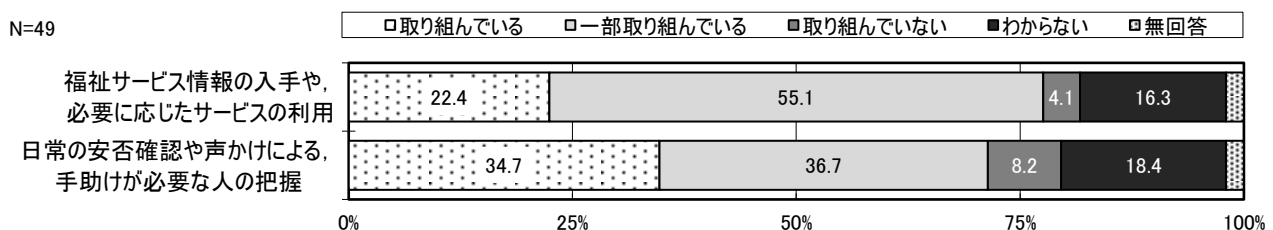
2 ネットワークづくり



3 地域福祉に関わる情報発信



4 環境づくりと公的なサービスの充実



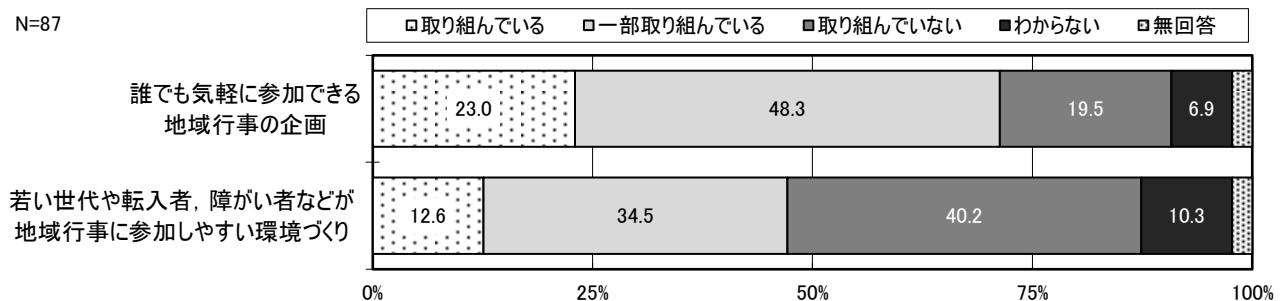
地域の取組について

【基本方策1 “つながりあい”の促進】

1 関わりあうきっかけづくり
誰でも気軽に参加できる地域行事の企画
若い世代や転入者，障がい者などが地域行事に参加しやすい環境づくり
2 集える場づくり
地域の中で定期的に人々が集い，交流や相談のできる場づくり
公共施設や空き店舗，空き家を利用したサロン活動の促進
3 理解しあう学びの機会づくり
障がい者や外国人市民も含めて，一緒に参加できる行事の開催
地域への関わりが薄い人に対し，参加を促すための生涯学習の周知

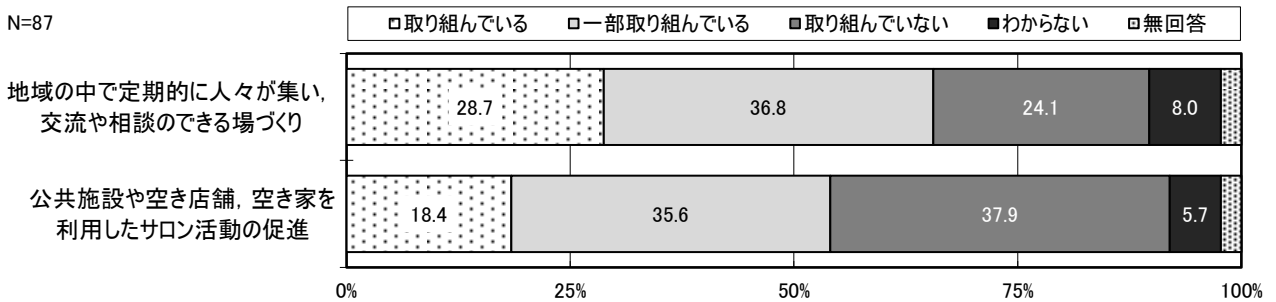
1 関わりあうきっかけづくり

N=87



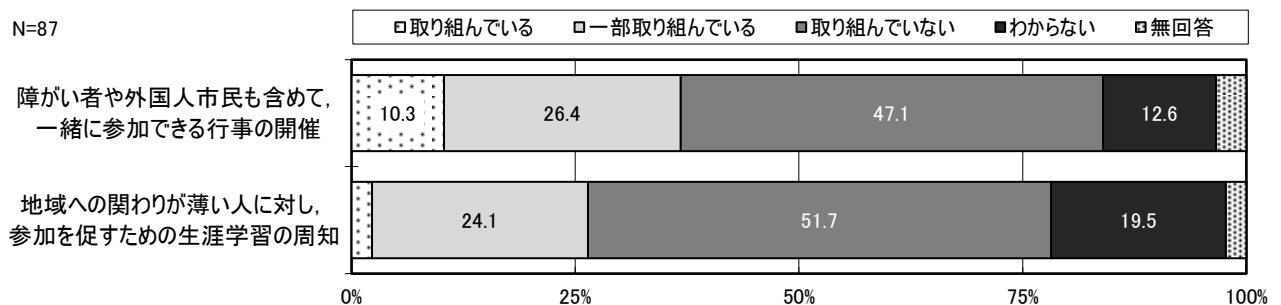
2 集える場づくり

N=87



3 理解しあう学びの機会づくり

N=87

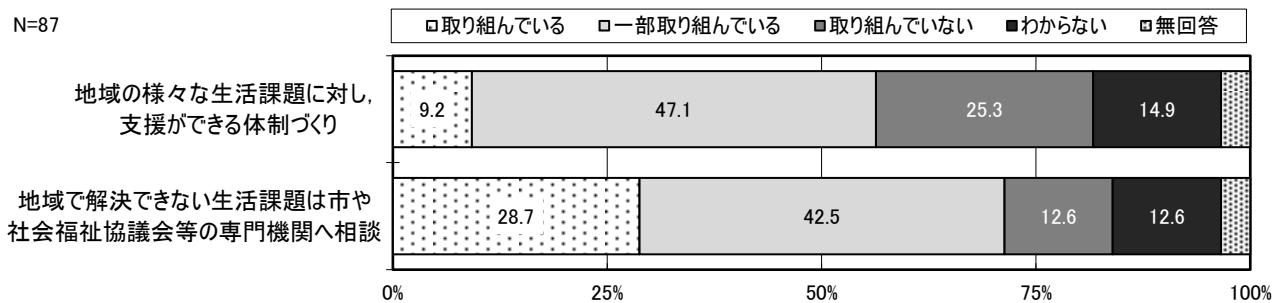


【基本方策2 “支えあい”の促進】

1 「お互いさま」意識づくりと風土の醸成
地域の様々な生活課題に対し、支援ができる体制づくり
地域で解決できない生活課題は市や社会福祉協議会等の専門機関へ相談
2 様々な支えあいの実践
サロン活動等における、支援を必要とする人や生活課題の把握
関係団体と連携しながら行う、生活課題に対する支援
3 身近な相談支援体制の充実
地域にある、気軽に相談できる場や機会の充実
不安や悩みごとを持つ人を把握し、相談・支援ができる環境の整備

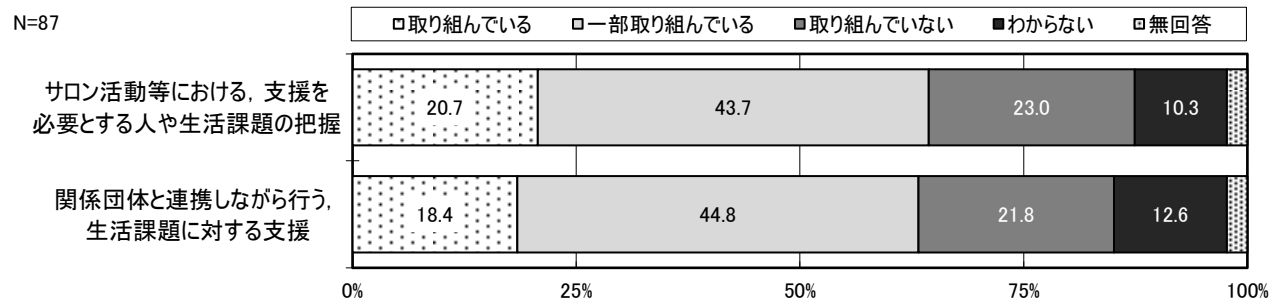
1 「お互いさま」意識づくりと風土の醸成

N=87



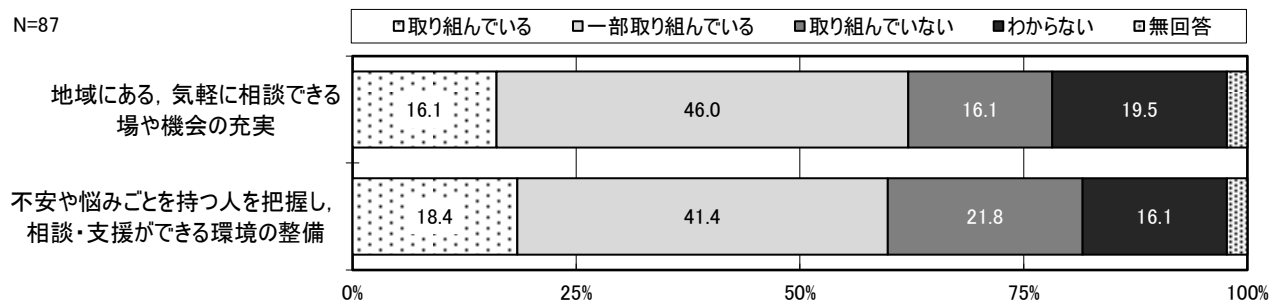
2 様々な支えあいの実践

N=87



3 身近な相談支援体制の充実

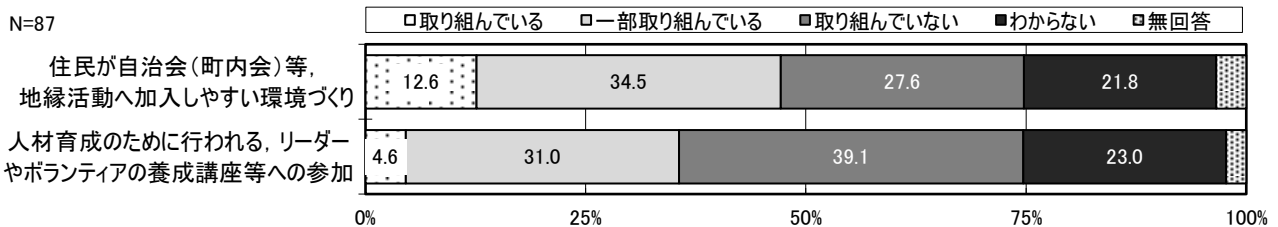
N=87



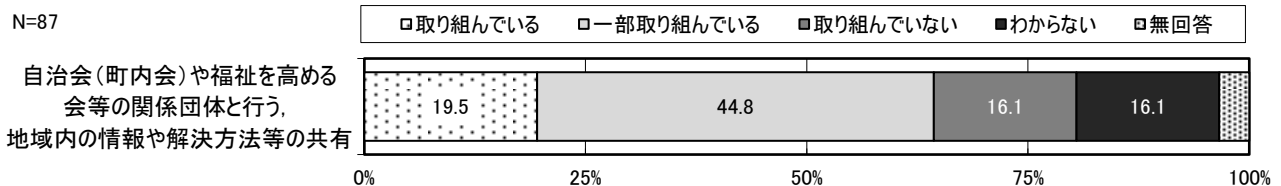
【基本方策3 地域福祉を支える仕組みづくり】

1 人づくり
住民が自治会（町内会）等、地縁活動へ加入しやすい環境づくり
人材育成のために行われる、リーダーやボランティアの養成講座等への参加
2 ネットワークづくり
自治会（町内会）や福祉を高める会等の関係団体と行う、地域内の情報や解決方法等の共有
3 地域福祉に関わる情報発信
福祉サービスや地域活動についての情報収集
見守り活動等を通じて、広く住民に対し行う、情報の周知
4 環境づくりと公的なサービスの充実
地域課題や行政施策の把握と、市や社会福祉協議会との情報共有
地域の人に対する安否確認や声かけなどの、状況に応じた支援

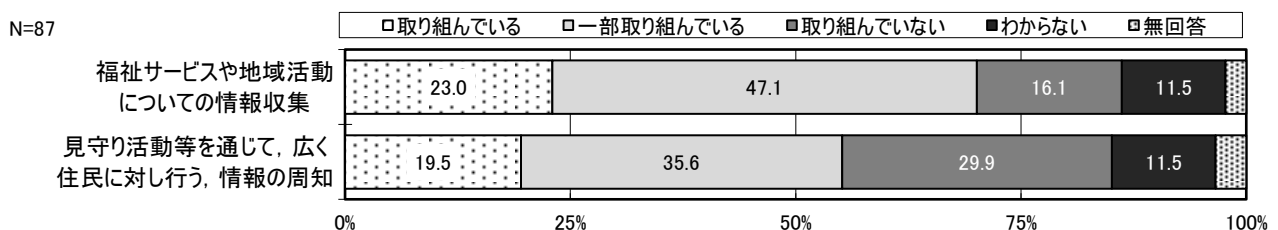
1 人づくり



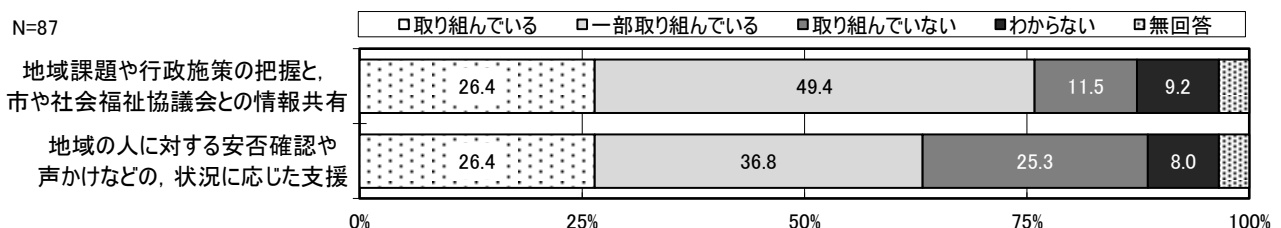
2 ネットワークづくり



3 地域福祉に関わる情報発信



4 環境づくりと公的なサービスの充実

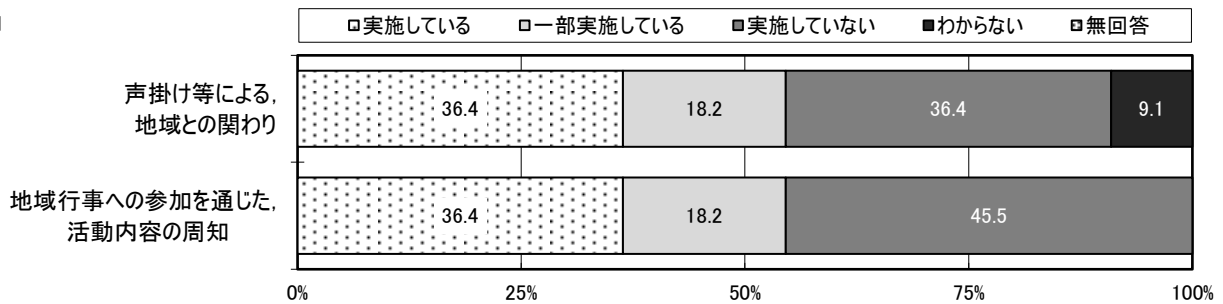


【基本方策1 “つながりあい”の促進】

1 関わりあうきっかけづくり
声掛け等による、地域との関わり
地域行事への参加を通じた、活動内容の周知
2 集える場づくり
地域の人が日ごろの悩みなどを話しやすい場をつくるための協力
同じ生活課題を持った人が集える場の提供
3 理解しあう学びの機会づくり
地域住民が福祉に触れ、知ることができる機会の提供
障がい者や外国人市民に対する支援活動へ、地域住民の参加を促す取組

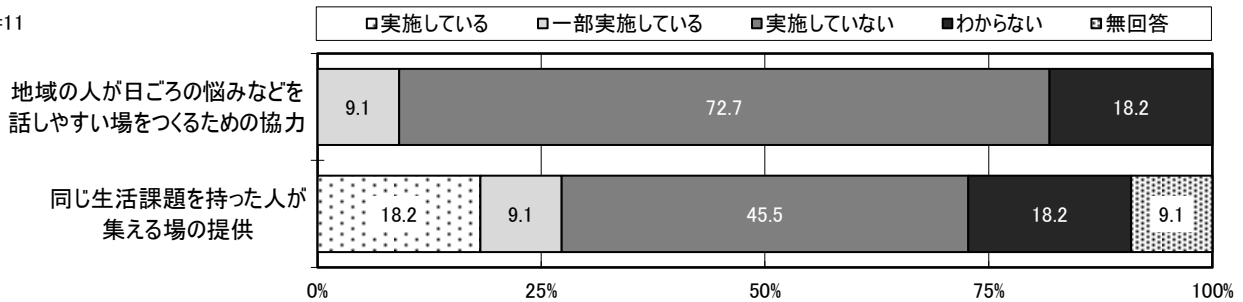
1 関わりあうきっかけづくり

N=11



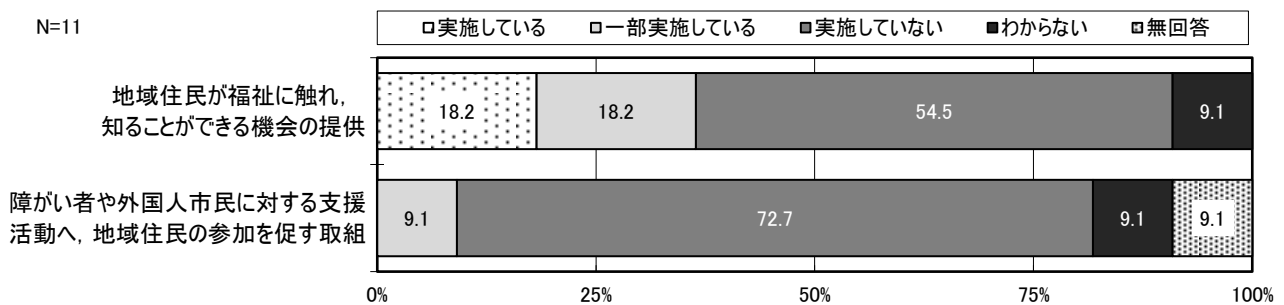
2 集える場づくり

N=11



3 理解しあう学びの場づくり

N=11

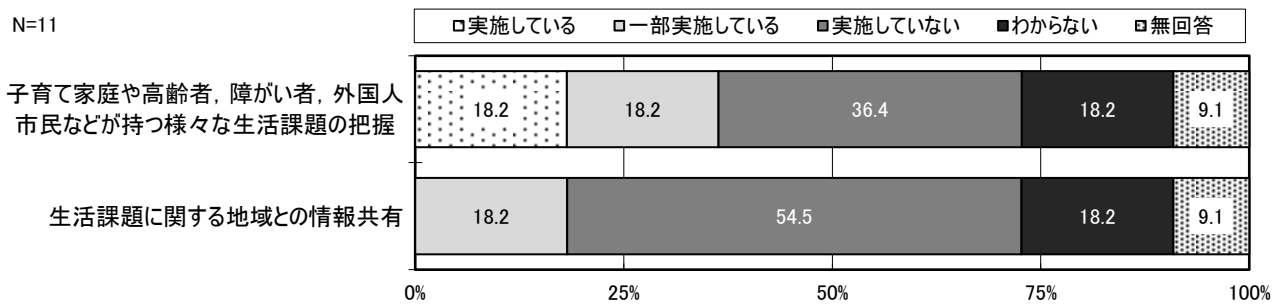


【基本方策2 “支えあい”の促進】

1 「お互いさま」意識づくりと風土の醸成
子育て家庭や高齢者，障がい者，外国人市民などが持つ様々な生活課題の把握
生活課題に関する地域との情報共有
2 様々な支えあいの実践
子ども，高齢者，障がい者など，支援を必要とする人への，その人に応じた支援
関係団体と連携を図りながら行う，効果的な支援の展開
3 身近な相談支援体制の充実
地域で解決できない生活課題についての相談対応
悩みや相談ごとに対する，課題解決のための支援

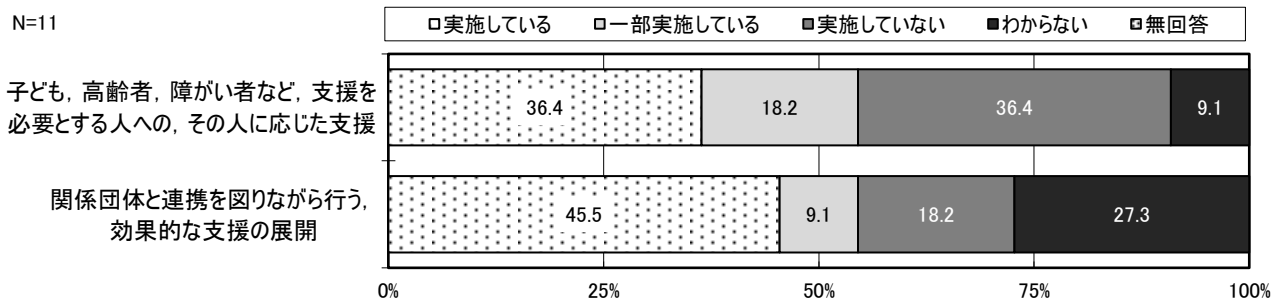
1 「お互いさま」意識づくりと風土の醸成

N=11



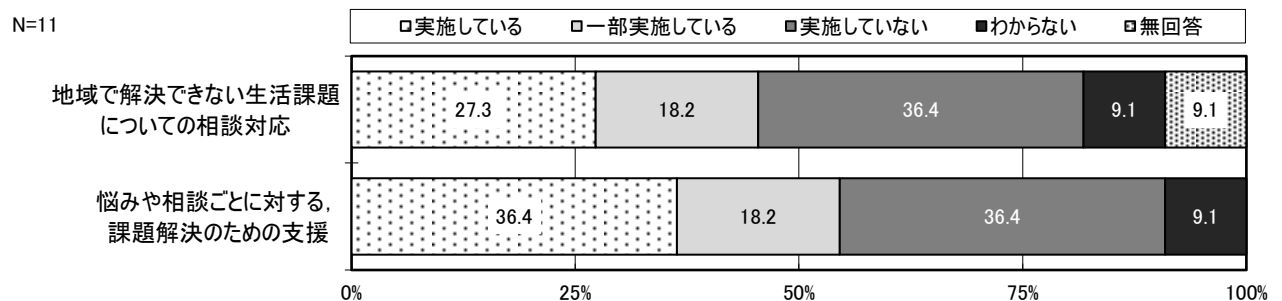
2 様々な支えあいの実践

N=11



3 身近な相談支援体制の充実

N=11

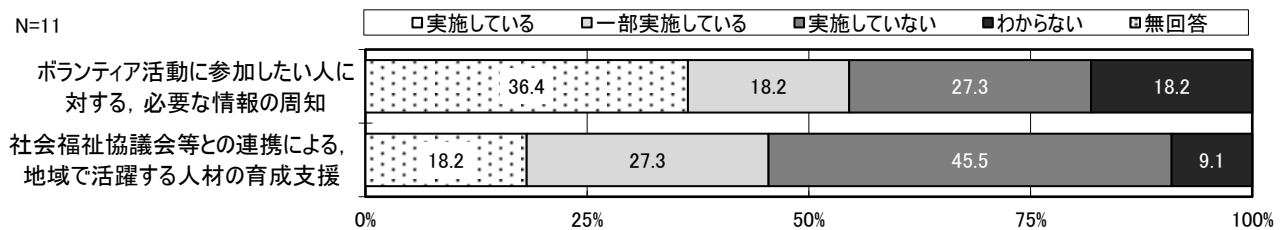


【基本方策3 地域福祉を支える仕組みづくり】

1 人づくり
ボランティア活動に参加したい人に対する、必要な情報の周知
社会福祉協議会等との連携による、地域で活躍する人材の育成支援
2 ネットワークづくり
社会福祉協議会や地縁団体との連携による、生活課題や解決方法の情報共有
市や社会福祉協議会、地縁団体等が行う交流会や会議への積極的な参加
3 地域福祉に関わる情報発信
社会福祉協議会等との連携による、活動内容の情報共有や情報提供
活動内容を住民に広く周知するためのわかりやすい情報発信
4 環境づくりと公的なサービスの充実
福祉サービスの情報収集と地域への情報発信
社会福祉協議会等との連携による、災害時の避難支援

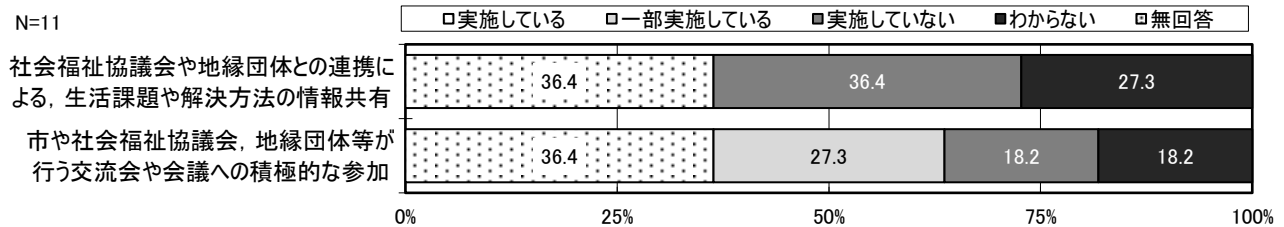
1 人づくり

N=11



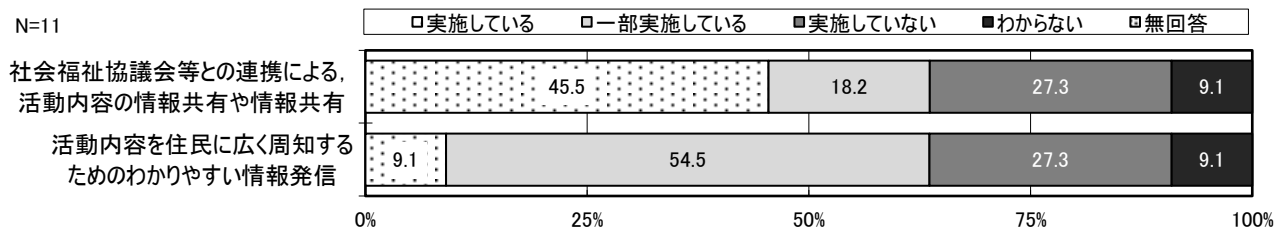
2 ネットワークづくり

N=11



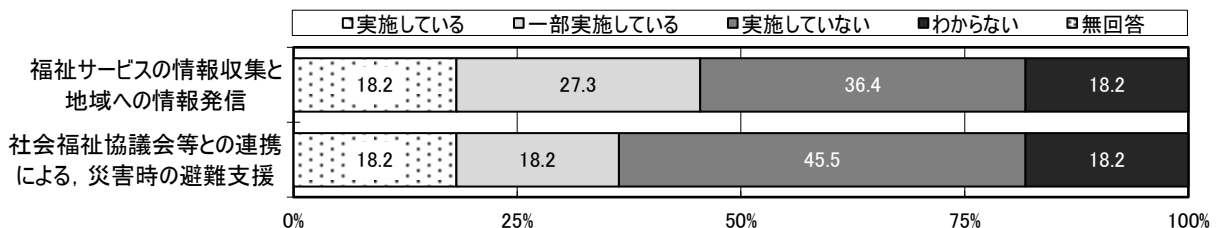
3 地域福祉に関わる情報発信

N=11



4 環境づくりと公的なサービスの充実

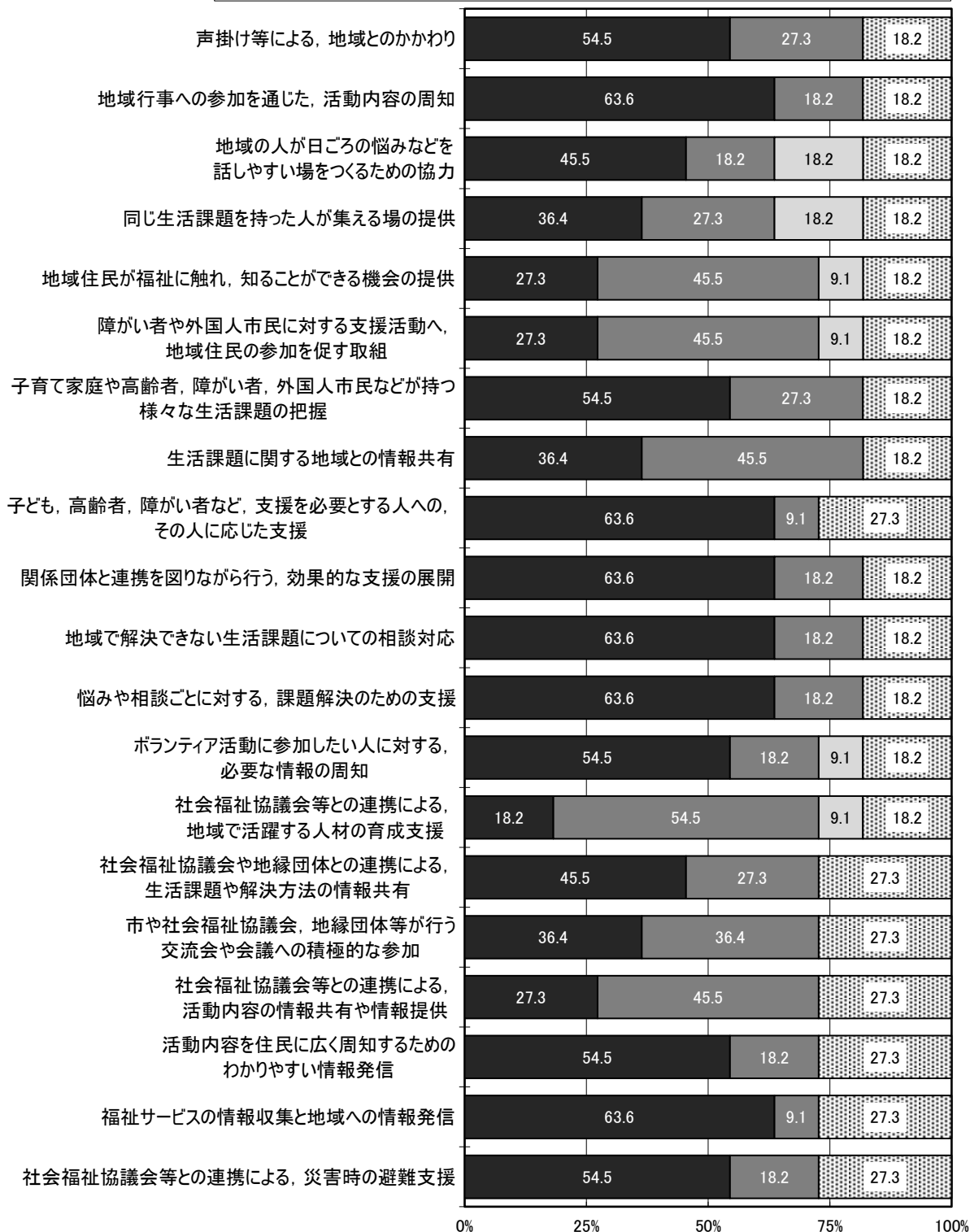
N=11



ボランティア・NPO からみる取組ごとの重要度

N=11

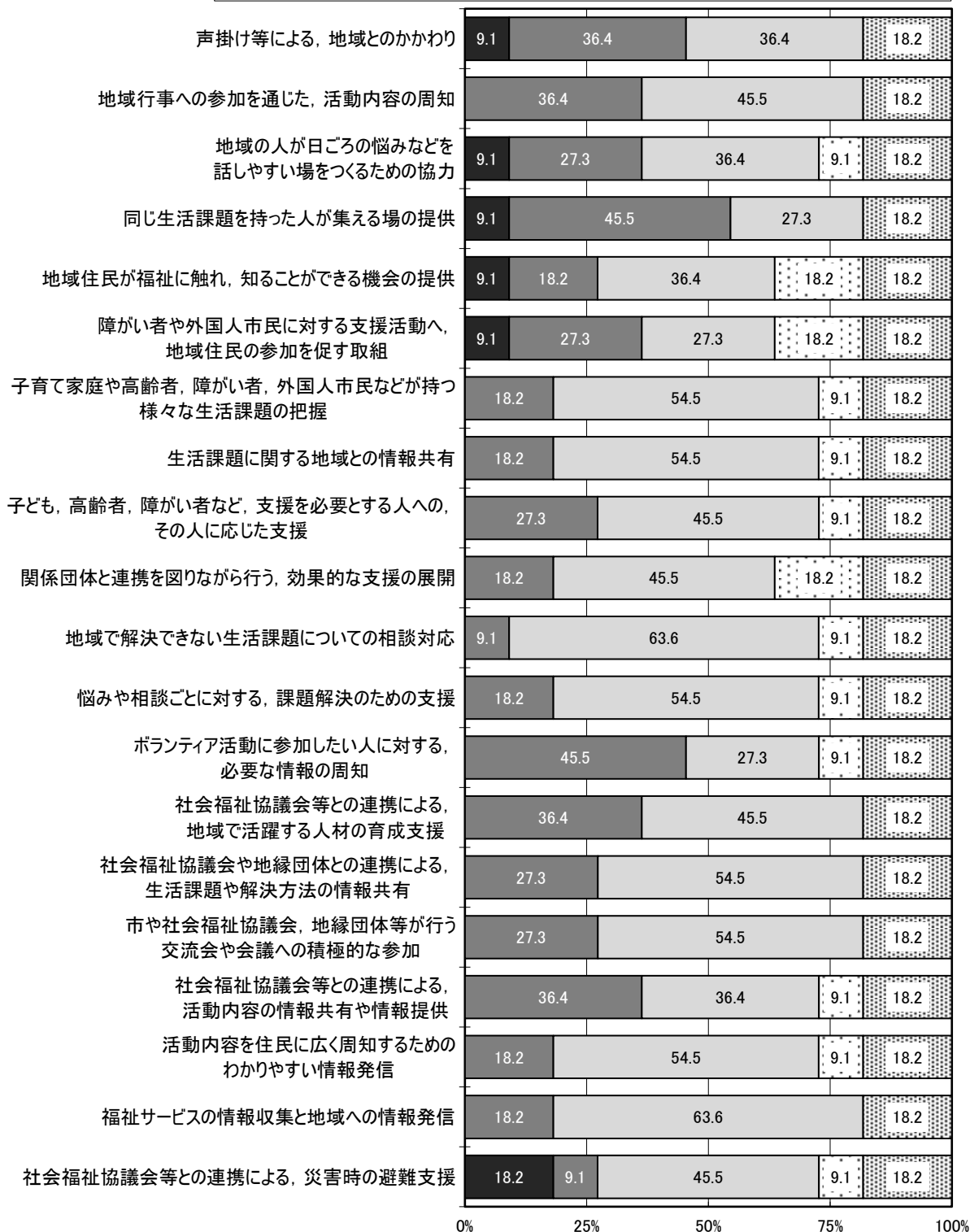
■重要である □どちらかという重要 □どちらかという重要でない □重要でない □無回答



ボランティア・NPOのそれぞれの取組状況に対する満足度

N=11

■満足している □どちらかという満足 □どちらかという不満足である □不満足である □無回答

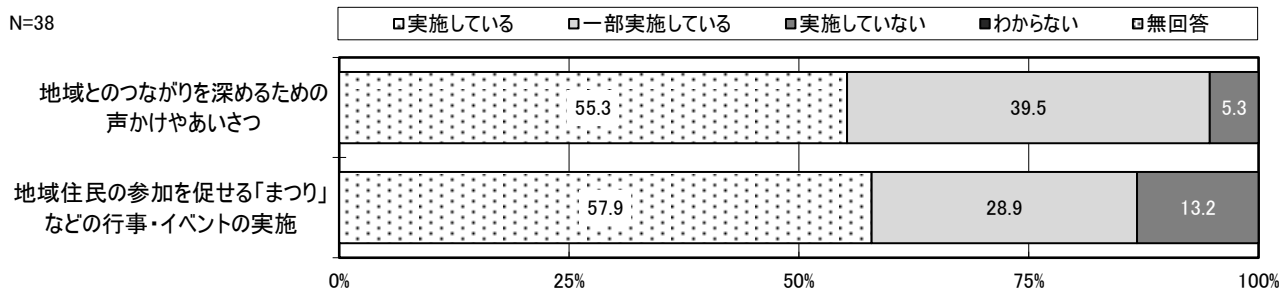


社会福祉事業者の取組について

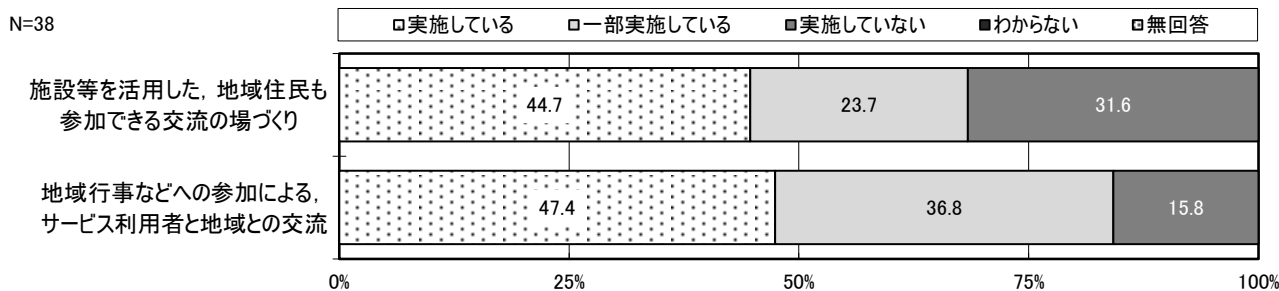
【基本方策1 “つながりあい”の促進】

1 関わりあうきっかけづくり
地域とのつながりを深めるための声かけやあいさつ
地域住民の参加を促せる「まつり」などの行事・イベントの実施
2 集える場づくり
施設等を活用した、地域住民も参加できる交流の場づくり
地域行事などへの参加による、サービス利用者と地域との交流
3 理解しあう学びの機会づくり
職場体験の受入れや、地域行事への参加を通じた福祉意識の啓発
地域に利用者等の状況・特性を伝える取組

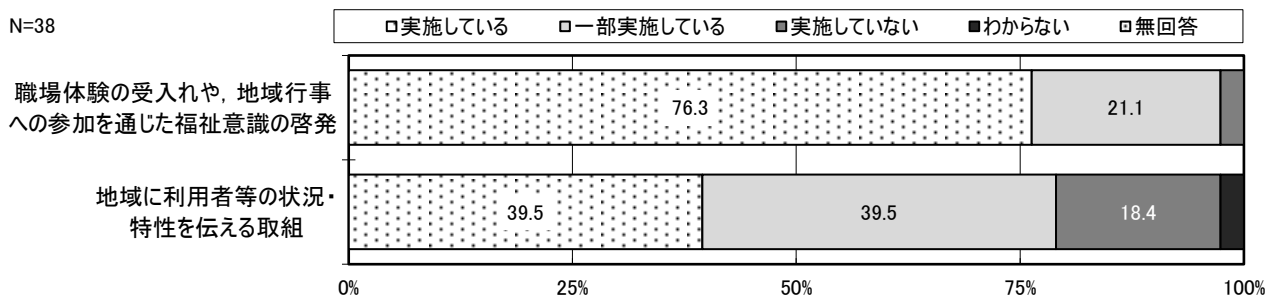
1 関わりあうきっかけづくり



2 集える場づくり



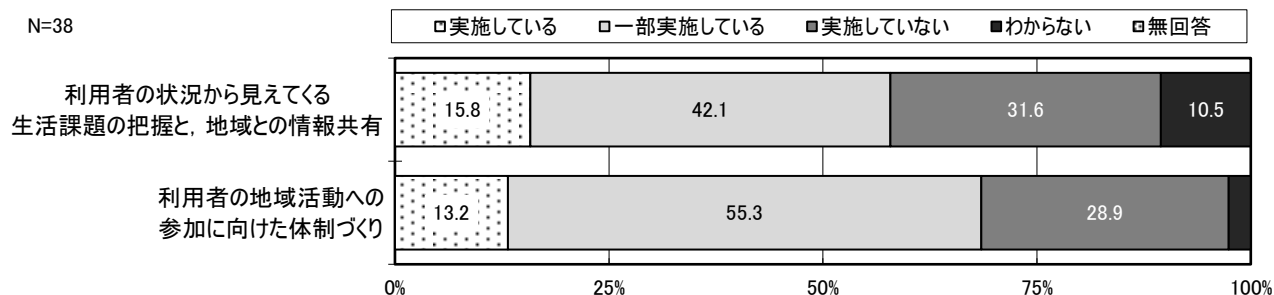
3 理解しあう学びの場づくり



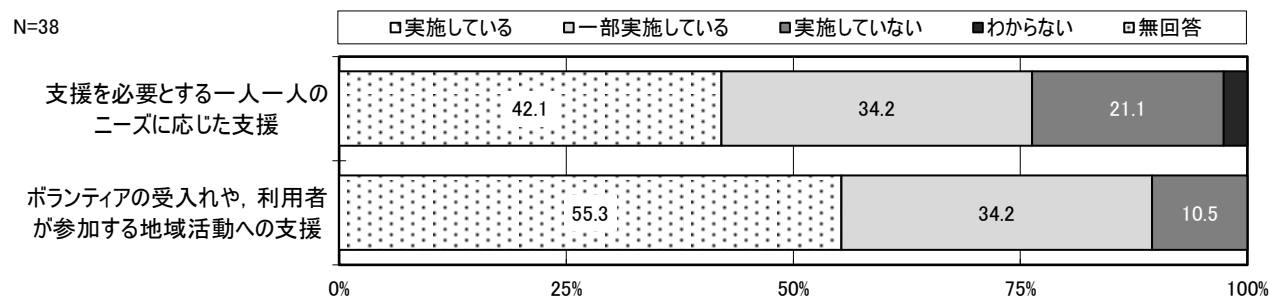
【基本方策2 “支えあい”の促進】

1 「お互いさま」意識づくりと風土の醸成
利用者の状況から見てくる生活課題の把握と、地域との情報共有
利用者の地域活動への参加に向けた体制づくり
2 様々な支えあいの実践
支援を必要とする一人一人のニーズに応じた支援
ボランティアの受入れや、利用者が参加する地域活動への支援
3 身近な相談支援体制の充実
地域で解決できない生活課題に対する、専門的な立場からの相談対応
悩みや相談ごとに対する、課題解決のための支援

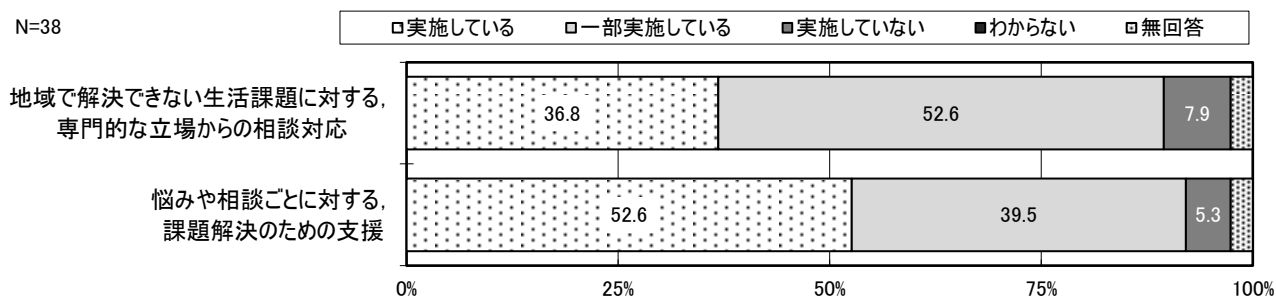
1 「お互いさま」意識づくりと風土の醸成



2 様々な支えあいの実践



3 身近な相談支援体制の充実

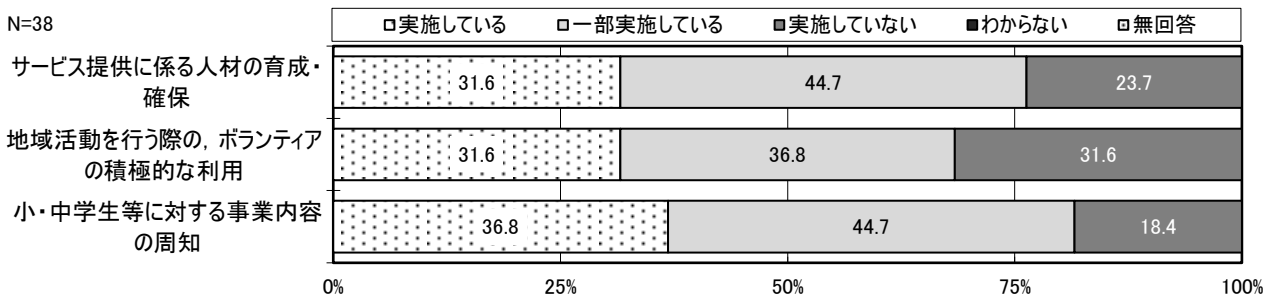


【基本方策3 地域福祉を支える仕組みづくり】

1 人づくり
サービス提供に係る人材の育成・確保
地域活動を行う際の、ボランティアの積極的な利用
小・中学生等に対する事業内容の周知
2 ネットワークづくり
地縁団体や事業所間における、地域内の情報共有
市や社会福祉協議会、地縁団体等が行う交流会や会議への、積極的な参加
3 地域福祉に関わる情報発信
地域住民の参加を促せる行事・イベントや事業内容等を住民に広く周知するためのわかりやすい情報発信
4 環境づくりと公的なサービスの充実
事業所で実施している福祉サービスの充実
災害時の避難体制整備や、支援を必要とする人に対する生活支援

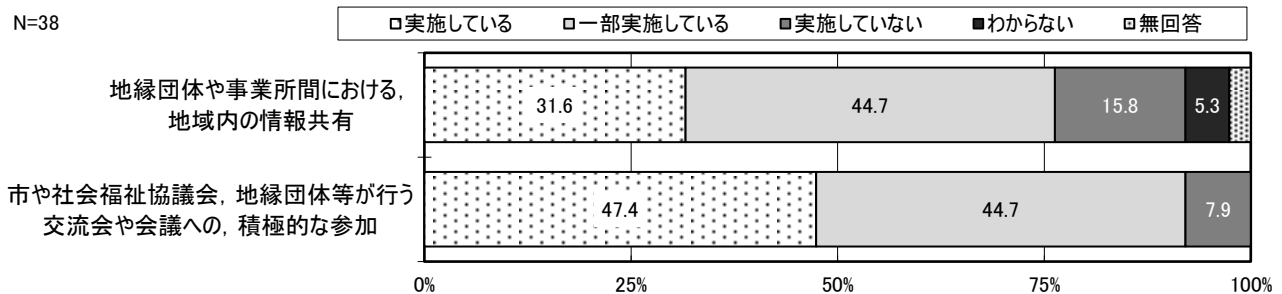
1 人づくり

N=38



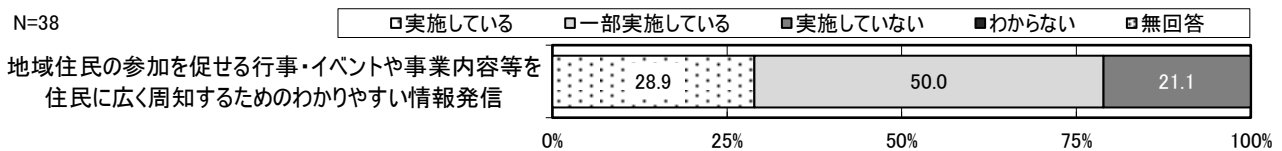
2 ネットワークづくり

N=38



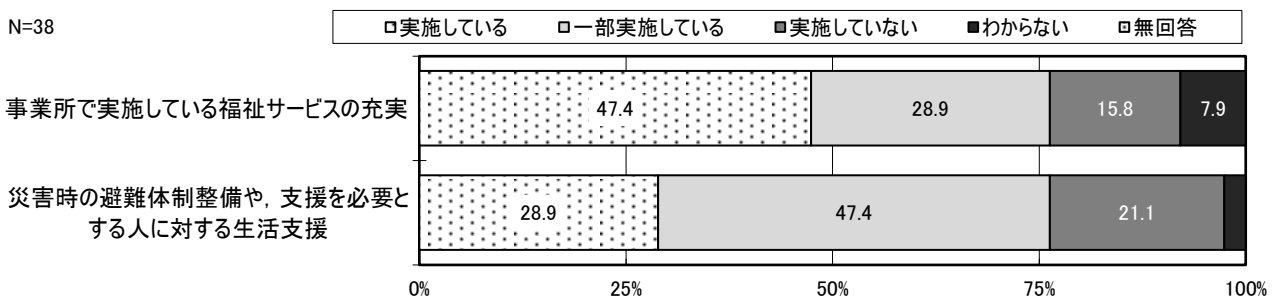
3 地域福祉に関わる情報発信

N=38



4 環境づくりと公的なサービスの充実

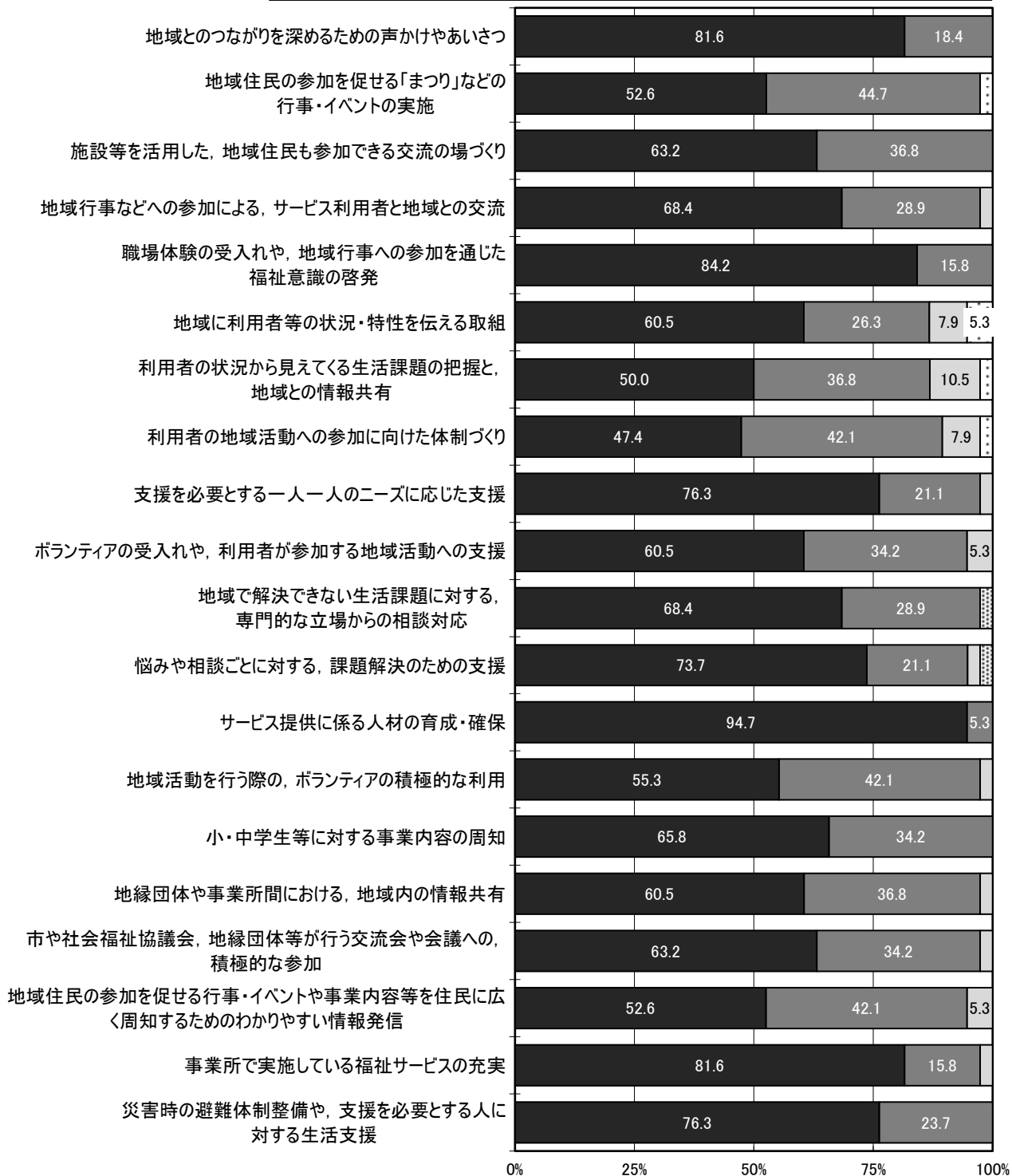
N=38



社会福祉事業者からみる取組ごとの重要度

N=38

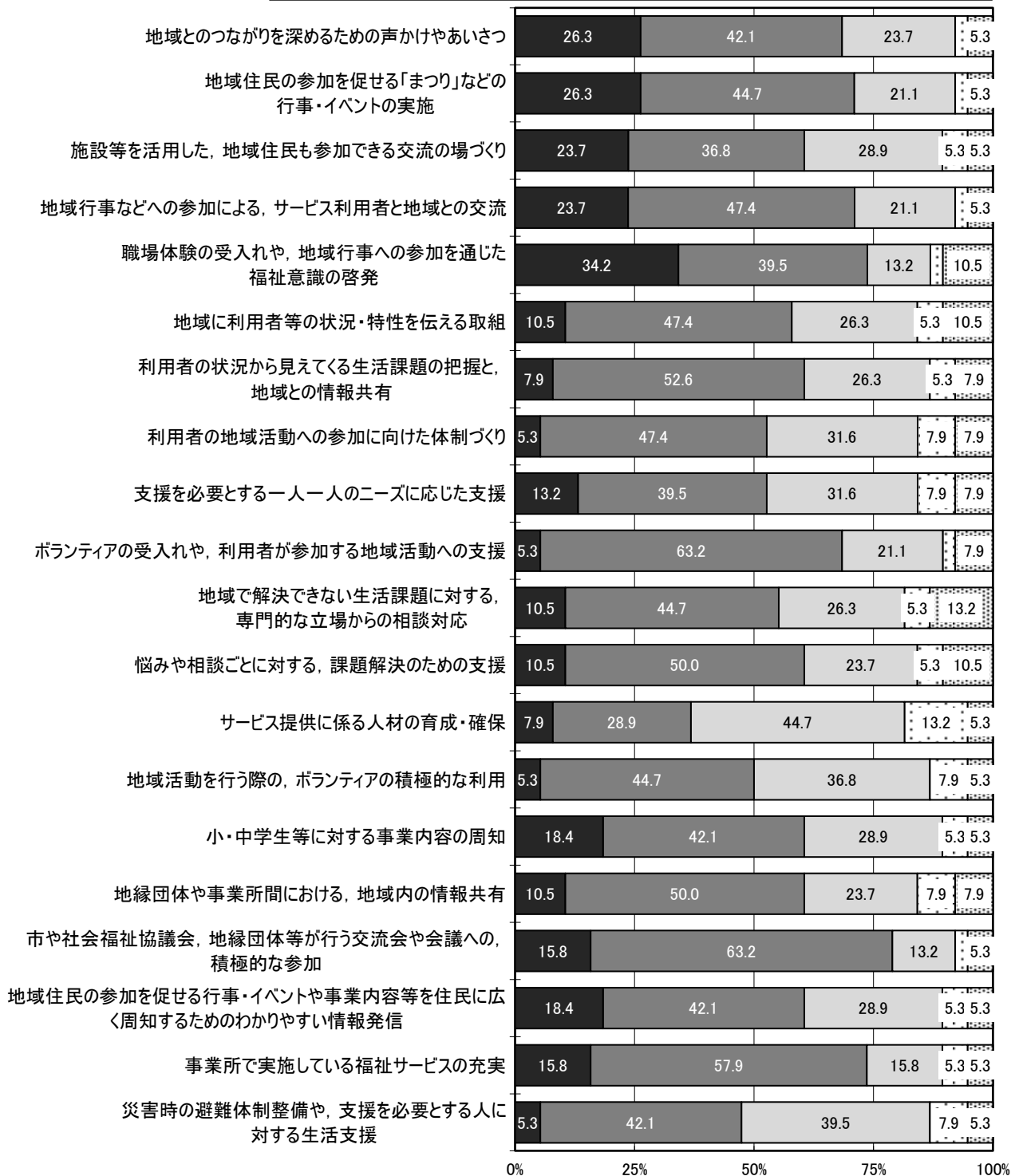
■重要である □どちらかという重要 ○どちらかという重要でない □重要でない □無回答



社会福祉事業者のそれぞれの取組状況に対する満足度

N=38

■満足している □どちらかというと満足 □どちらかというと不満足である □不満足である □無回答



社会福祉協議会の取組について

【基本方策1 “つながりあい”の促進】

1 関わりあうきっかけづくり
誰でも気軽に参加できる行事の開催
地域で活動する人同士が、学区をまたいで交流できる機会づくり
2 集える場づくり
地縁団体や市との連携による、身近な居場所づくりの支援
公共施設や空き店舗、空き家を利用したサロン活動の支援
3 理解しあう学びの機会づくり
ボランティア・NPO等との連携による、地域福祉について学べる場や機会の提供
地域に対する事業内容の周知

団体名	回答
福山市社会福祉協議会 福祉のまちづくり課	福祉活動メニュー事業の推進 メニュー：友愛訪問・世代間交流・敬老活動・ネットワークづくり・ボランティア活動・広報啓発・福祉学習) 喫茶店風サロン、高齢者居場所づくり事業 おもちゃサロン 担い手養成講座 ボランティア講習会・入門講座 サロン等の担い手交流会 ささえあいサミット 先進地視察研修 講師として出席した際、前段で事業内容をPR 広報誌「ほほえみ」による福祉活動の周知
福山市社会福祉協議会 安心生活見まもりセンター	総合支援協議会主催による研修会を定期開催 障がいの理解を目的とした勉強会 障がい者総合支援協議会の開催 医療・福祉・行政・教育・就労・地域組織・法務等他分野が参画した協議体を運営している中で、障がいのある方の地域生活における今日的課題解決を目的とした研修会開催
福山市社会福祉協議会 新市事務所	ふれあいいきいきサロン 喫茶店風サロン 高齢者居場所づくり ささえあいサミット 高齢者居場所づくり事業・喫茶店風サロン代表者研修交流会
福山市社会福祉協議会 松永事務所	福祉を高める会が学区をまたいで交流行事 「カーブジェー」「ひと・まち・ふくし」 身近な集会所等でふれあいいきいきサロンを実施し気軽な仲間づくりを行う
福山市社会福祉協議会 東部事務所	サロン活動は活発な学区とそうでない学区があり、サロンができていない学区に対して生活支援コーディネーターと情報の共有を行い取り組む 福祉を高める会ブロック会議を開催 サロン・居場所等の活動を支援(助成金の交付、レク用具の貸出など) 地域福祉についての出前講座を実施

【基本方策2 “支えあい”の促進】

1 「お互いさま」意識づくりと風土の醸成
生活課題の相談に応じ、専門的な支援ができる組織の紹介
地縁団体やボランティア・NPOが行う活動についての、住民への情報提供
2 様々な支えあいの実践
学区ボランティアの会が行う、支援を必要とする人に対する活動の支援
関係団体と連携しながら行うネットワークづくり
3 身近な相談支援体制の充実
相談から福祉ニーズを把握したうえでの、ボランティアの支援のマッチング
ボランティア・NPO等との連携による、地域の相談体制の充実

団体名	回答
福山市社会福祉協議会 福祉のまちづくり課	ホームページや SNS による各種活動の紹介 小地域福祉ネットワーク活動者の研修に講師・助言者として出席 認知症ひとり歩きSOSネットワーク事業の紹介(事前登録, 協力団体の呼びかけ) 認知症ひとり歩き声かけ訓練 第2層協議体による生活支援活動の立ち上げや相談体制の整備 市内社会福祉法人の協議体による総合相談窓口設置(福山市地域福祉貢献活動協議会「くらしの相談窓口」)
福山市社会福祉協議会 安心生活見まもりセンター	障がい者総合支援協議会において、障がいのある方の災害時避難支援をテーマに民生委員児童委員協議会等地域組織との連携 権利擁護支援センター, 障がい者基幹相談支援センター, 日常生活自立支援事業, 生活福祉資金貸付事業等ワンストップの相談支援体制を構築
福山市社会福祉協議会 新市事務所	くらしの相談窓口 お互いさま活動担い手養成講座 協議体の組織化
福山市社会福祉協議会 松永事務所	生活支援コーディネーターを配置し、地域で高齢者等が安心して暮らしていける仕組みづくり 学区ボランティアの会による地域活性化を支援 ボランティアセンターにおいて「ボランティア活動したい人」と「ボランティアの支援を求める人」を繋ぐ活動を実施
福山市社会福祉協議会 東部事務所	ボランティア会員の高齢化 若い世代への参加呼びかけが必要・周知 生活支援活動を行うグループ「元気かい」等を紹介 生活支援コーディネーターと連携して、地域の活動を支援している 小地域福祉ネットワーク活動の推進

【基本方策3 地域福祉を支える仕組みづくり】

1 人づくり
ボランティア養成講座の実施
支援を必要とする人と地域のボランティアをつなぐコーディネーターの養成
2 ネットワークづくり
地域包括支援センターや地縁団体の情報共有を図る情報交換会の開催
ボランティアセンターに登録する団体の連絡会議の定期的な開催
3 地域福祉に関わる情報発信
事業内容を広く周知するためのわかりやすい情報発信
支援を必要とする人とボランティアをつなぐための情報紙の発行
4 環境づくりと公的なサービスの充実
権利擁護等の福祉サービスの充実
福祉を高める会・ボランティアの会が行う地域活動の支援

団体名	回答
福山市社会福祉協議会 福祉のまちづくり課	ボランティア入門講座 福祉を高める会連合会総会における研修 福祉を高める会連合会ブロック会議(情報共有) ボランティア連絡協議会役員会 ボランティア連絡協議会情報交換会 ふくやま福祉だより「ほほえみ」発行 ボランティア情報誌「TUNAGU」発行(毎月) SNSによる地域福祉活動等の情報発信 各地域の活動(サロンや行事等)への訪問により状況確認や課題の把握と解決(情報誌「地域の風」発行) 学区福祉を高める会・学区ボランティアの会が行う事業に対する助成金制度 各種ボランティア養成講座等の実施 要約筆記ボランティア講習会・手話講習会・点訳ボランティア養成講座等
福山市社会福祉協議会 安心生活見まもりセンター	福山市市民後見人養成講座の定期開催 市民参画による支え合い活動に延長線上の権利擁護活動の実施 成年後見利用促進法における中核機関を弁護士会, 司法書士会, 社会福祉士会を運営(権利擁護における地域連携ネットワークづくりの推進) 障がい者総合支援協議会による医療・福祉・行政・教育・就労・地域組織・法務関係等多分野のネットワークづくりの推進 市民後見人活動, 社会福祉協議会后見活動, 日常生活自立支援事業「かけはし」等権利擁護における相談支援を一体的に行い, 権利擁護のニーズを把握し, 課題解決に向けての取り組み 障がい者総合支援協議会において, 障がいのある方の今日的課題の解決に向けての支援体制の充実のための協議検討 広報ふくやま, 社協だよりの情報紙, FM放送等により情報発信 福祉向上のための基盤強化を行う
福山市社会福祉協議会 新市事務所	ボランティア情報誌の発行(毎月) ふくやま福祉だより「ほほえみ」発行(年6回) 福山市地域福祉貢献活動協議会 地域の高齢者の健康維持, 保健, 福祉, 医療の向上の支援のための地域活動会議 各学区の福祉だよりによる情報誌の配布 福祉サービス利用援助事業 後見人養成・支援

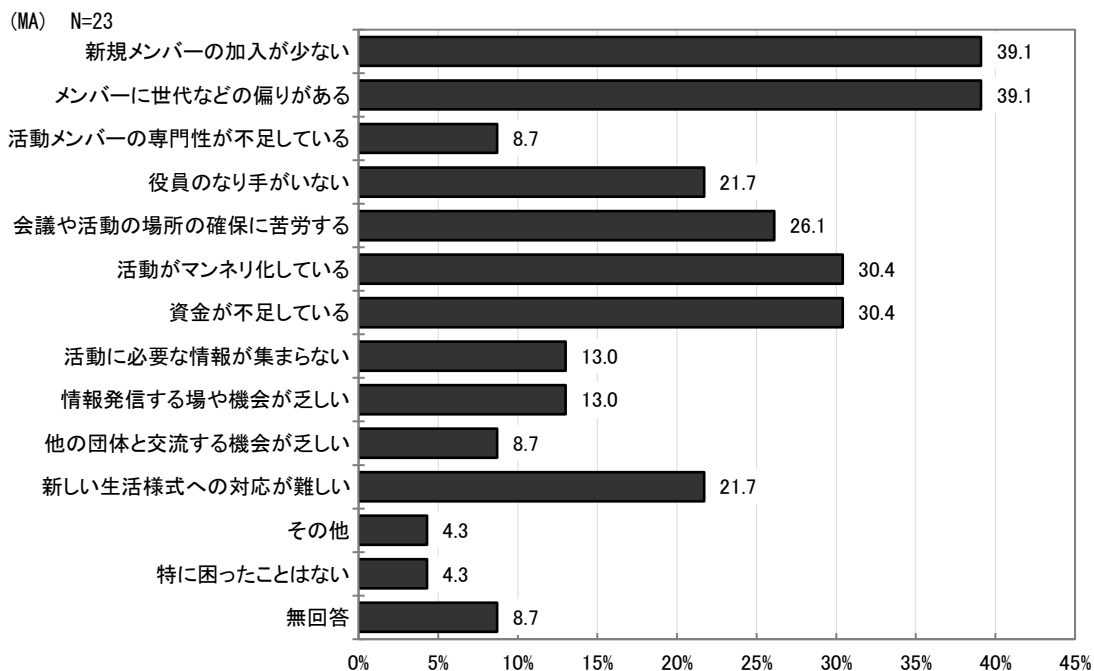
団体名	回答
福山市社会福祉協議会 松永事務所	成年後見制度の普及・啓発や相談支援 福祉を高める会・ボランティアの会が行う地域活動の支援
福山市社会福祉協議会 東部事務所	福祉を高める会・ボランティアの会が行う活動について助成金の交付 随時相談に応じるなどの支援

活動上の課題や今後について

【事業所以外対象設問】

貴団体で、現在の活動や対応を充実する上で課題と考えることはなんですか。

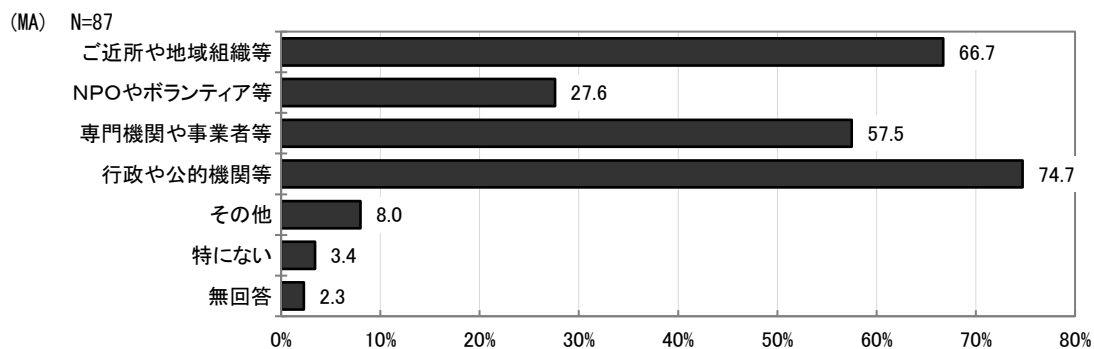
「新規メンバーの加入が少ない」「メンバーに世代などの偏りがある」がともに 39.1%で最も高くなっています。次いで「活動がマンネリ化している」が 30.4%で続いています。



【全団体共通設問】

貴団体や貴事業所が活動する中で、連携・協力している機関や団体などはありますか。

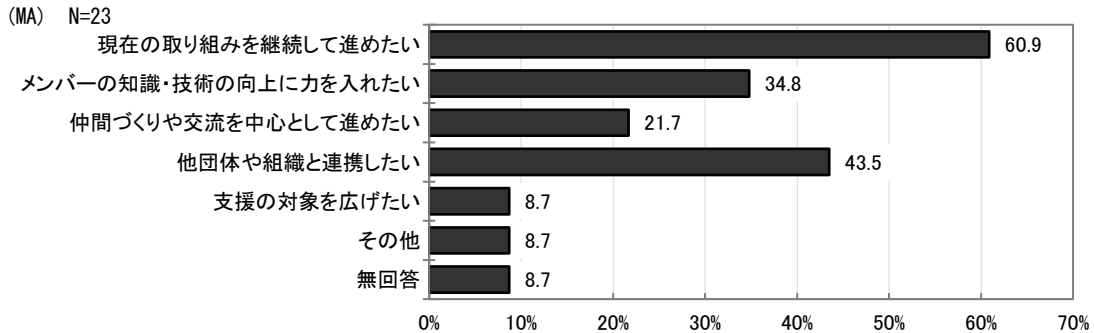
「行政や公的機関等」が 74.7%で最も高くなっています。次いで「ご近所や地域組織等」が 66.7%、「専門機関や事業者等」が 57.5%で続いています。



【事業所以外対象設問】

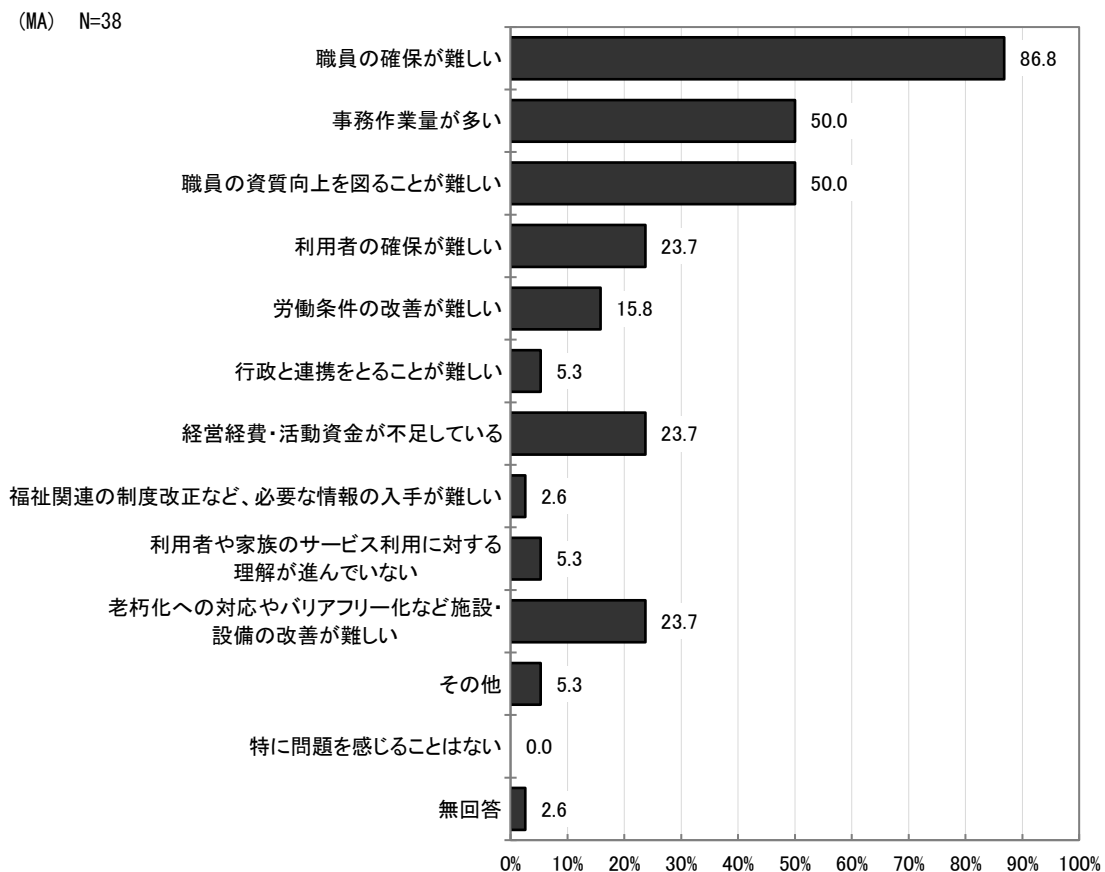
今後の貴団体の活動はどのように進めていきたいと考えていますか。

「現在の取組を継続して進めたい」が 60.9%で最も高くなっています。次いで「他団体や組織と連携したい」が 43.5%、「メンバーの知識・技術の向上に力を入れたい」が 34.8%で続いています。



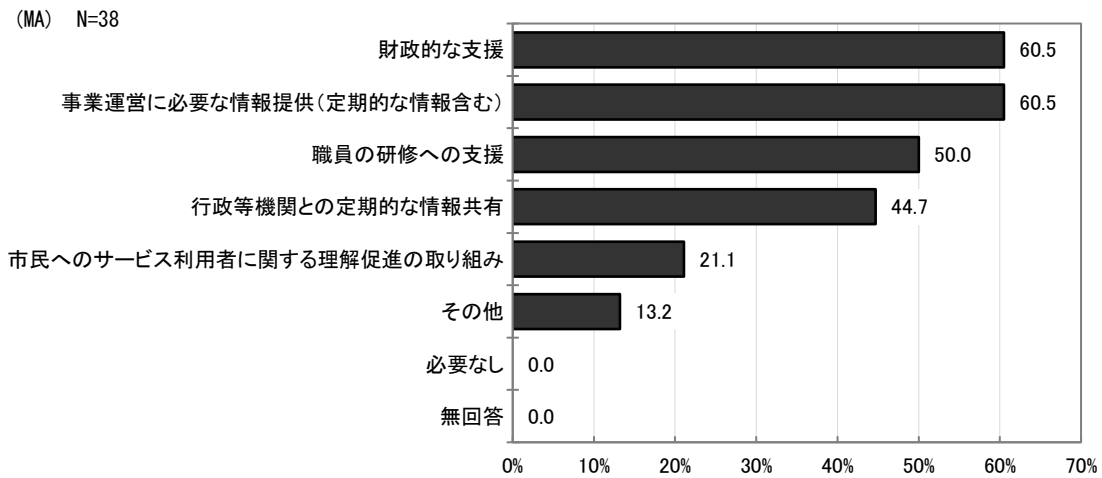
【事業所対象設問】 事業の運営を進めていく上で、課題や問題を感じることはありますか。

「職員の確保が難しい」が 86.8%で突出しています。「事務作業量が多い」「職員の資質向上を図ることが難しい」がともに 50.0%で続いています。



【事業所対象設問】 今後の事業運営について、行政等からどのような支援を望みますか。

「財政的な支援」「事業運営に必要な情報提供(定期的な情報含む)」がともに 60.5%で最も高くなっています。次いで「職員の研修への支援」が 50.0%で続いています。

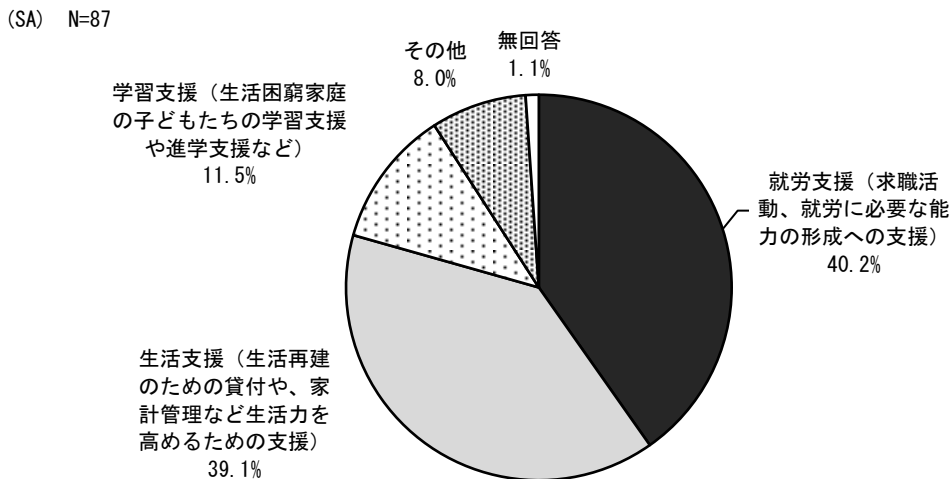


地域における様々な課題について

【全団体共通設問】

生活困窮の問題について、具体的にどのような支援が最も必要だと思いますか。

「就労支援(求職活動、就労に必要な能力の形成への支援)」が 40.2%で最も高く、次いで「生活支援(生活再建のための貸付や、家計管理など生活力を高めるための支援)」が 39.1%、「学習支援(生活困窮家庭の子どもたちの学習支援や進学支援など)」が 11.5%で続いています。

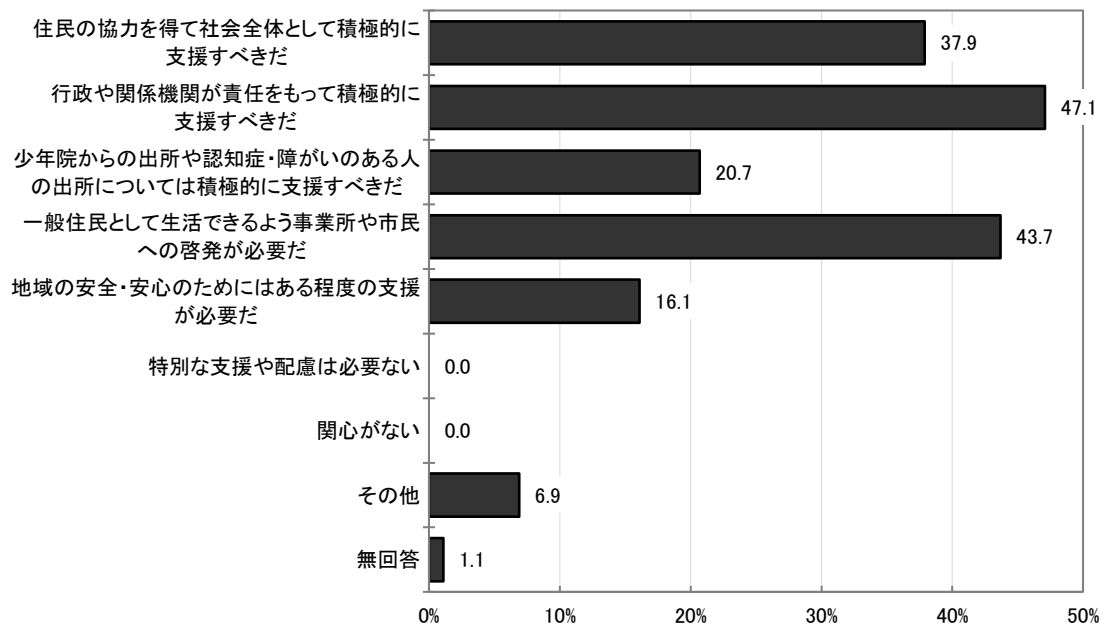


【全団体共通設問】

刑務所や少年院を出た人が円滑に社会復帰できるように支援することについて、あなたの考えに特に近いものを選んでください。

「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」が 47.1%で最も高くなっています。次いで「一般住民として生活できるよう事業所や市民への啓発が必要だ」が 43.7%、「住民の協力を得て社会全体として積極的に支援すべきだ」が 37.9%で続いています。

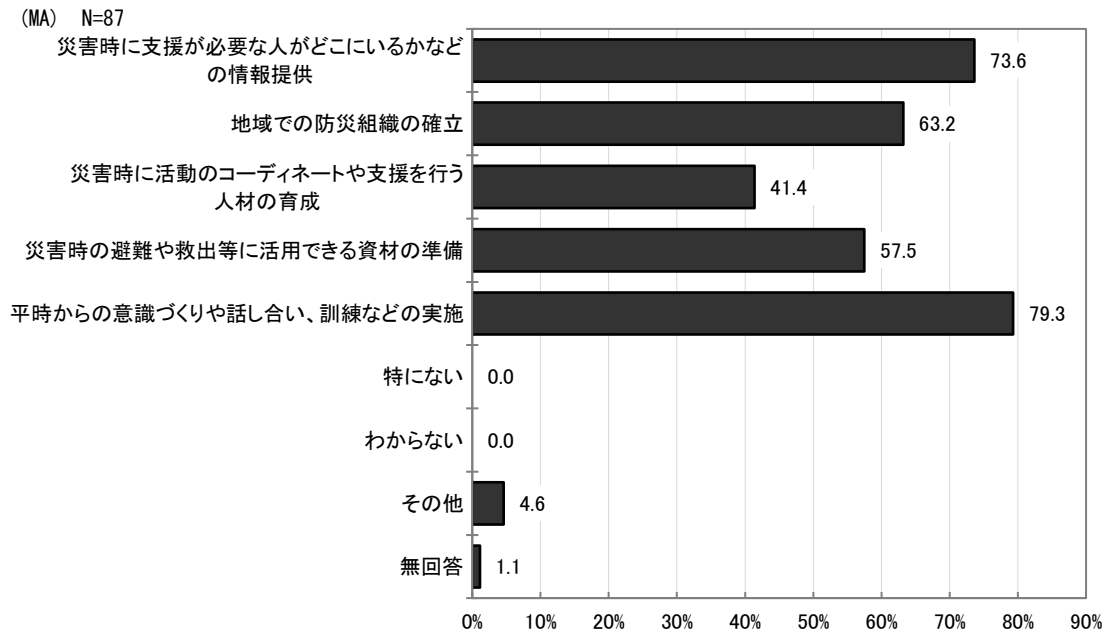
(MA) N=87



【全団体共通設問】

災害時に地域で支え合う活動をするために、特にどのような取組が必要だと思いますか。

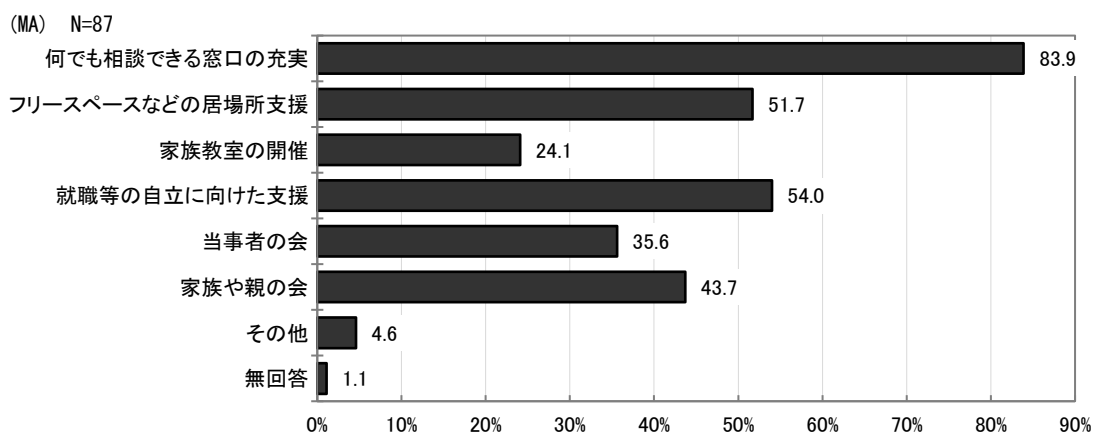
「平時からの意識づくりや話し合い、訓練などの実施」が 79.3%で最も高くなっています。次いで「災害時に支援が必要な人がどこにいるかなどの情報提供」が 73.6%、「地域での防災組織の確立」が 63.2%で続いています。



【全団体共通設問】

ひきこもりの方やその家族に対する支援として、どのような支援が必要だと思われますか。

「何でも相談できる窓口の充実」が 83.9%で最も高くなっています。次いで「就職等の自立に向けた支援」が 54.0%、「フリースペースなどの居場所支援」が 51.7%で続いています。



【全団体共通設問】

近年、地域福祉分野では、行政や関係団体が連携して地域住民の複雑化した支援ニーズに対応することが求められています。（ダブルケア、8050問題、生活困窮など）
複合的な課題を抱えた人に対し、貴事業所だけでは解決できなかった事例があれば御記入ください。

自由意見	意見数
支援の必要な子と介護の必要な親の世帯 （子の引きこもり、親子とも生活に支援が必要 など）	6
事業者・相談機関、地域団体等の連携・支援 （単独の事業所での解決困難、ケース会議、家族が抱え込む など）	6
親子間の介護・介助 （8050、家族介護者の就労継続 など）	5
一人暮らし世帯 （認知症、身寄りがない、金銭トラブル、支援の拒否、ごみ出し など）	4
虐待 （子供から親への虐待、経済的虐待、劣悪環境、ネグレクト など）	4
社会インフラ	1
空き家問題	1
地域活動者の高齢化 （ボランティアの減少 など）	1

【相談員・民児協等対象設問】

地域の取組、市民一人一人の取組について、今後特に重要になると思うものがございましたら御記入ください。

自由意見	意見数
福祉教育・意識醸成 （つながりや支え合いの意識付け、自治会加入 など）	7
民生委員・児童委員の人材確保	6
人口減少・少子高齢化 （地域人口、限界集落、空き家、耕作放棄地、地域行事の縮小、役員固定化、若い人の活躍の場、近所づきあいの減少 など）	5
認知症サポーター （理解の促進、企業職員の受講支援 など）	3
個人情報保護の問題	3
孤立、引きこもりへの対策	2
移動支援の充実	1
高齢者の就労・生きがい	1
情報弱者への対応	1

【全団体共通設問】

地域福祉に関する施策について御意見や御提案があれば御記入ください。

自由意見	意見数
地域共生社会の実現について (包括的支援体制整備事業, 関係機関の連携, 複合課題の解決, 困りごとを発信する仕組み, 人のつながり, 地域ぐるみ, 地域の人員不足 など)	11
地域・団体・関係機関等のネットワークづくりについて (関係者・行政機関等の連携・協力体制, 地域と事業所の仲介, 社会資源の活用, 意見交換会の開催, 事業所と学校の連携, Webでの情報共有 など)	9
高齢者福祉について (夫婦世帯・一人暮らし世帯, 高齢者人口増への対応, サービス拒否 など)	5
障がい者福祉について (生活の場, 重度者支援, 様々な障がいに対応するサービス など)	5
母子福祉・子育て支援について (不登校・ひきこもり, 家庭環境の複雑化 など)	4
福祉従事者の働き方改革について (業務量の増加, 現場のゆとり, 人材確保, 外国人登用, ハローワークの活用促進 など)	3
買い物支援・移動支援の充実について	3
DV対策	2
貧困対策	2
民生委員・児童委員の負担解消・人材確保	2
その他 (ローズマインドの普及 など)	4